



## 『私が見た日本と中国の違い』

マ カイテン  
馬 海天 [中国山東省 出身]

みなさん、こんにちは。日本語の会「いろは」の学生、馬海天です。今日、わたしのスピーチのテーマは「私が見た日本と中国の違い」です。日本に来てまだ一年も経っていない外国人として、私はまだ日本社会を深く理解することはできません。ですので、今日は私の経験と見聞に基づいて、中国と中国の違いについて話してみたいと思います。

日本では、ほとんどの人ができるだけ他人に迷惑をかけません。トラブルとかが発生した場合、先に謝って、自分のせいだと考えます。そして、知り合いでなくても、お互いにお辞儀をして、善意を示します。これは温かい雰囲気を醸し出しています。

私が印象深い2つのことを紹介したいと思います。ある日、私が交差点を通り過ぎようとした時、横断しようとする人と、道路から出て行こうとする車がお互いに譲り合い、どちらも先に行こうとしない。その状態が長い間続きました。また、ある日、電車を降りたとき、どちらの出口に行くべきか迷っていました。だから案内板を遠くから見ていました。そのとき、別の人が案内板の前を通り過ぎる際に、私の視界を妨げないように90度身をかがめて通過しました。これらの2つの出来事は私に感動を与えました。中国では、私は幼いときから、他人に頭を下げたり腰を曲げたりすることを避けるよう教育されました。目上の人に対しても、自分が間違えた場合でも、謝ることはせず、傲慢でもなく卑屈でもない態度で対応するようにと両親に言われてきました。

私は日本に来てから、なぜ日本人が中国人よりお詫びが好きで、他人のために譲歩しがちなのかと考えました。私は日本社会の状況について詳しくはわかりませんが、職場でのストレスなどがあるでしょう。中国では社会の競争が厳しいです。人は他人に無能力或いは、臆病だと判断されると、社会でやっていくのが難しくなります。そのため、中国人は間違いを犯したとき、なぜ間違えたのかを説明して、自分が無能ではなく、うっかりミスをしただけだということを示した方が、謝罪より他人に許されやすいと思います。他の人とトラブルが発生した場合、先に謝罪したら、他人から弱虫と見なされる可能性があって、他の人々からいじめなどを受けるといった心配があります。特に男性は、弱腰を見せると臆病者だと皮肉られることもあります。だから、こういうジャングルの法則の支配で、人々は自分の尊厳を重視して、鎧を着るように自分の最も強力な自信に満ちた面を他の人に見せることになります。これは日中文化の違いの一面です。

中日両国は文化の違いよりも、似ている点が多いです。中国語で同種同文と一衣帯水という2つの熟語は、日本と中国の親密な関係を表現するために特に使われるものです。周知の通り、漢字は日本語の不可欠な部分です。漢字がなくなると、日本語は成り立ちません。また、近代に中国も日本から多くの進んだ語彙を学んでいます。中国の国名である「中華人民共和国」の中の「人民」と「共和」の2つの言葉も日本から導入された語彙です。日本の流行語も、中国の若者に受け入れられているものが多いです。中日両国の長い歴史の中で、互いに学び、共に発展してきました。したがって、今後も中日両国の友好関係が続くことを心から願っています。





## 『日本と中国の異なること』

居<sup>イ</sup> 時<sup>ジエン</sup> 琰 [中国江蘇省 出身]

日本に来る前に、日本は道もきれいだし、人も礼儀正しいし、女の子もかわいいし。こんなイメージを持っていました。

今年 1 月から日本で生活して以来、さまざまな面白くて困ったことがありました。ある日髪が長すぎるので、Google Map で近くのヘアサロンを探して、自転車に乗って直接そのヘアサロンへ行きました。

ヘアサロンに入ったとき「いらっしゃいませ。ご予約ありますか？」とにこにこしている店員が迎えに来ました。あのとき、私の日本語のレベルが低かったのであまりわかりませんでした。そして、優しい店員が「店に来る前に、予約しなければなりません。」と丁寧に説明してくれてやっと理解しました。私はとても恥ずかしかったです。中国では予約しないで、直接店に入って並んで待ちます。だから日本の店より入りやすいです。でも長い時間待つことがあります。時間がもったいないと思うときもあります。日本の予約制はいいと思います。経営者とお客は時間を充分活用できるし、時間を無駄にしません。とくに飲食店などにとって予約制がけっこう役に立ちます。予約のお客の数に応じ食料を用意して、できるだけ無駄がないようにしています。

日本ではみんながアイスウォーターを飲んでいますが。最初はちょっとおどろきました。中国でアイスウォーターは胃によくないといわれていますから。たとえば彼女の調子が悪いとき、ぼくは「お湯をたくさん飲んでください。」と言っています。ですが、郷に入れば郷に従え。今は私もアイスウォーターを飲んでます。10 か月くらい日本で暮らして、この国のことがだんだん深くわかってきて、好き になってきました。

みなさん、日本での毎日がたのしくなりますように。





## 『女性に優しい日本』

李<sup>リ</sup> 檣旭<sup>ビンシュ</sup>〔中国甘肃省 出身〕

皆さんこんにちは。私は中国の甘肃省出身の李檣旭と申します。

今日お話ししたいのは、日本が女性のために作った福祉施設についてです。来日当初は日本語がぜんぜん通じなくて、緊張と不安でいっぱいでした。コンビニに道を聞きに行ったとき、対応してくれた女性がとても優しく親切で、根気よく説明してくれました。その時は本当に心が温まりました。

そして、私がより安全だと感じたのは、ラッシュ時など込んでいる時間帯には、日本の電車にはすべて女性専用のエリアと座席があり、女性が異性からの嫌がらせを恐れずに乗れるようになっていることです。これは本当に重要なことで、特に日本語を話せない外国人女性にとっては、守られていると感ずることができます。また、妊娠中の女性を大事にするために、マタニティマークが作られました。妊産婦さんが身につけることで、周囲に妊産婦であると認識してもらい、妊婦さんへの配慮を示しやすくなりました。

以上は私が日本に来て感じたことです。これで私のスピーチを終わります。ご清聴を感謝いたします。





## 『モンゴル族の文化紹介』

タイ フンホウ  
戴 文峰 〔中国内モンゴル 出身〕

みなさん、こんにちは。私は内モンゴル出身の戴文峰と申します。私は、モンゴルの草原で育ったモンゴル族の一員です。今日は、皆さんにモンゴルの生活について、お話ししたいと思います。

モンゴル人は、牧畜で生計を立てています。彼らは、「ユルト」と呼ばれる羊毛で作られた家に、住んでいます。この家は、「ゲル」と呼ばれています。ゲルは、モンゴルの遊牧民の精神と文化を表しています。その形は円形で、円は万物を包み込み、人々と自然の調和を表しています。

モンゴル族はとても、もてなし好きで、どの家庭にも様々な食べ物とワインを並べたテーブルがあり、遠くから訪れるお客様を歓迎します。夜には焚火のイベントを行って、羊の肉を焼き、紅茶を飲みながら、歌や踊りを楽しんでいます。日本に来て、様々な文化が交わり合うのを見て、私は自分が育ったモンゴルの草原をますます好きになりました。これからも、日本で生活しながら、モンゴルの良いところを感じたいと思います。

これで、私のスピーチを終わります。今日は、私のスピーチを、最後まで聞いていただき、ありがとうございました。





## 『日本語勉強体験とベトナムとの文化の違いについて』 グエン ティ ガン [ベトナム 出身]

皆さんこんにちは。

どうして日本語を勉強しますか。日本語学習者によってよく聞かれると思います。私もそうです。質問されるときいつも、日本語が好きですから勉強しました。振り返ってみると色々な思い出が自分の頭中に出ました。

日本語を勉強し始めたのは大学の2年生です。先輩から進めてもらった「もし第2言語を勉強したら日本語がいいよ」という言葉でスタートしました。始めたら日本語がとても難しかったです。ひらがなとカタカナの勉強が数か月かかりました。日本語クラスメートはだんだん辞めてしまって学校宿題が多くて自分も何回日本語勉強を辞めたいと思っていました。しかし、せっかく勉強したのに途中でやめたら「もったいないじゃないですか」と、自分に反省しました。

はじめて日本の方と会話したのは、初級を勉強しているところでした。どうやって言いたいことを伝えるか相手の意味があまり分かりませんでした。緊張の瞬間に日本人の友達は優しい目でゆっくり話したり、私の片言の日本語をちゃんと聞いたり理解してくれたので、なんとなく通じました。とても嬉しく感動しました。その忘れられない思い出のおかげでもっと日本語を勉強したいと思いました。

いつも教科書で勉強したり語彙を暗記したりすれば勉強はつまらなくなってしまうと思います。そうして会話練習のために日本語交流会にも参加しました。また日本語聴解のトレーニングとして日本アニメやドラマをよく見ました。

そのため、たくさん友達が作ることができました。新しいことや色々な考え方が理解できました。日本語を勉強しながら日本文化も身につけました。読解文章どおりに日本の景色を美しく想像しました。季節の「練り切り和菓子」は、春が桜とか秋が紅葉など風景を表す和菓子について読んで、夢中になりました。日本は発展するとともに自然や伝統的な価値を守る国だと思います。

ある文章の中で、二人の子供が喧嘩することがあったら母たちは喧嘩をとめずにそのままにしたほうがいいのか、子供は自分の問題を解決するべきです、と書いてありました。ああ、この考え方が面白いですね。子供を甘かしたり、守りたいたい傾向があるベトナム人の親にくらべて、日本人の親は子供に自立させる気がしました。

『WOOD JOB! (ウツジョブ) 神去なあなあ日常』というドラマで、森の大切さの勉強になりました。植えてから何十年後木が大きくなると弱い木をとり、また元気な木を育て続けます。そして、何百年後本当に価値がある木ができます。もし仕事大変だから、とかもっとお金が欲しいというきっかけで元気な木もすぐとったら、私たちの孫はどうするの。こういう長い目で見ることに関心しました。ベトナムでは、発展している途中で経済のためよく計画せずに森林を切ったりして自然資源を使い切るという話は新聞でよく出ます。自然をもっと守ったほうがいいですね。

## 第 29 回かつしか国際交流まつり「外国人による日本語スピーチ大会」

みんなに言われる「新しい言語を勉強するともう一つの人生が送れる」という文が正しいと思います。外国語を勉強するときは大変です。しかし、頑張れば言語だけでなく色々な面白いことが見られます。自分の成長も役に立ちます。これからももっと日本語を勉強したり日本文化が深く体験したりしたいと思います。





『日本で子どもを育てて』  
于<sup>ウ</sup> 艶<sup>エン</sup> 〔中国遼寧省 出身〕

わたしは中国遼寧省出身の于艶と申します。六年前に日本へ来ました。その時は日本語が全然できませんでした。生活するにも、人付き合いにもとても不便で、寂しかったです。

日中は子どもと一緒に遊んだり、子どもが昼寝をしている間だけ、日本語を勉強したりしていました。子どもが幼稚園に通う年齢になると、私の勉強時間が増え、幼稚園の先生とコミュニケーションも取れるようになり、流暢ではありませんが、先生の言っている意味は理解できるようになりました。幼稚園の子どもの様子を見て、子どもはすぐに日本の生活に慣れ、それまでの心配は無用となりました。

しかし、中国の幼稚園とは違うことがわかりました。まず、中国の保育時間は少し長く、一般的には午前8時から午後5時までです。次に中国の幼稚園では、算数、古い詩の暗唱、英語学習などの文化的知識などを学びます。共通点は、教育理念に基づいて、子どもたちの心身の健康のために、正しい生活習慣や日常知識を身につけることです。

日本では子どもの健康と身体の発育状況をかなり重視しています。そのため「自由に体を動かす遊びをする」ことは幼稚園の大切な課程です。例えば、年に一度運動会が開催され、家族も見学したり、参加します。拍手をして、自分の子どもが最後まで頑張れるように応援します。中国の幼稚園では、勉強は早ければ早いほどいいという方針で、文化的な知識を重視しています。

いずれにせよ、日本と中国、それぞれ独自の特色や強みがあり、子どもたちには、どちらも大切にしながら、心身ともに元気に成長してほしいと願っています。







## 『外国人として困ったこと』

シ セイセイ  
史 菁菁 〔中国浙江省 出身〕

初めまして、シセイセイと申します。出身は中国の浙江省です。日本在住は 3 ヶ月未満です。なので、わくわくしているところです。

今日のテーマは「外国人として困ったこと」です。

実は今度が初めて日本に来たわけではないです。五年前に一度旅行したことがあります。でも、観光者としての感想と在住者としての感想は大変異なります。

以前上海に住んでいた私として、一つ目の困ったことは東京の電車です。上海では、一つのホームに一つだけの路線があります。しかし、東京では、一つのホームにいくつかの路線があるので、注意しなければ、乗り間違いやすいです。ある日、また迷って電車に乗りそこない、用事に遅くなってしまい、「東京の地下鉄を乗るのに、上海での思考回路でおかしくない？」って、自分に腹がたちました。

「世の中に存在するものはすべて存在する理由があるのでしょうか。」そう思い、東京の電車についてちょっとだけネットで調べ、だんだん電車を中心としての交通機関の便利さがわかってきました。電車があつてこそ、自転車も私の日常生活に不可欠だと気づきました。

コロナ禍前にニュージーランドにしばらく住んだこともあります。ニュージーランドは、地下鉄もないし、町と町は遠いし、中には牧場や農場もありますし、こんな状況で車を持っていないと、買い物までも面倒になります。研究すればするほど、「さすが 100 年歴史以上の鉄道網ですね。最高だ」と感じます。

外国人の私たちとして、異文化とか、価値観とか、言語とか色々な客観的な条件によって、すれ違い、誤解が生じることは普通だと思っています。その時、裏側に考えたら、世界が広まり、もっと面白さを体験することができるようになってきていると思っています。

私の場合、二つ目の困った事は「大きい声」という常識です。最初の一週間、友人と一緒に家で食事する時とか、外食する時とか、町の中で話したりする時に、いろいろなおしゃべりしていると興奮してつい声が大きくなります。「ちょっと声を小さくしろよ、他の人に迷惑かけたら恥ずかしいよ。」って友人から何回も言われました。その時、常識は絶対ではなく、相対的なことだと気付きました。

一見すると習慣やマナーの違いかもしれませんが、見えない部分は異文化によって様々な価値観だと思っています。価値観ということは、必ずしも良い悪いというわけではないと思っています。どのような文化を持つ人でも、できるだけお互いに尊重し、理解しようという柔軟な心が一番大切だと思っています。

最後に、ボランティアの先生方にお礼を言いたいです。

三ヶ月前、初めて銀行にいった時、日本語を話すのが怖くて口座の開設に拒否されて慌てていた自分が忘れられないです。先生方のおかげで、だんだん日本語を話すことが好きになってきました。

本当は、個々の先生の名前をお呼びしたいのですが、この場では私は心の中で呼びかけます。先生方、ぜひ私の心の声を聞いてください。

9月15日金曜日、一階の窓口で「日本語の会いろは」の先生に出会い、教室まで案内してくれて熱心に話しかけてくれました。

午前のクラスの先生は、いつもユーモアを持って文法の知識を教えて魅力的な存在だと感じます。

午後のクラスの先生は色々な問題を聞いても優しく答えてくれました。また、その日、私のボロボロな自己紹介を聞いた後、スピーチのチラシをくれ、ほんとうに励まされました。

また、水曜日午後の先生方、冗談を言ったり、楽しく会話を勧めてくれていい勉強になりました。

最後の最後に、第三者としての先生とほかの関係者の先生方、ご指導いただき、心より感謝しています。

みなさん、ご清聴ありがとうございました。





## 『指の動作について』

何<sup>カ</sup> 坤<sup>コン</sup>〔中国北京市 出身〕

みなさん、海外旅行の経験もあるでしょうか。もし買い物とか、ホテルがチェーンとか、言いたい言葉が相手に伝えたいが、外国語がわからない場合は、みなさんどうしますか？とりあえず、手をあげて、指を動かして、自分の気持ちを指で伝えることも多いでしょうか。

私は日本に来たばかりの時、あまり日本語が話せないから、レストランで注文したり、スーパーで買物を会計したりする時、一番難しいのは言葉です。その時、よく手を使いますが、いつも笑い話もたくさん出てきます。

日本と中国の指の動作に関する話題では、両国の独立に文化間に興味深い違いが存在することがわかります。これらの違いは、それぞれの国の歴史、伝統、社会的な価値観を反映しており、異文化間の理解を促進するのに役立つことを提供します。

まず、日本と中国の挨拶方法には違いがあります。日本ではお辞儀が一般的な方法であり、それは日本の文化における尊重と謙遜を反映しています。対照的に、中国では握手が一般的であり、これは平等と親しみを重視しています。

次に、中国では、指で「ok」の意味は西洋の「すべてよし」の意味に似ているためです。一方、日本では「ok」は胸の前に横で親指と人差し指で輪を作り、輪を上にするとお金を表すようです。中国ではお金は、親指と人差し指を繰り返すことを表します。

三つ目に、数字のジェスチャーにおいても両国の間に違いがあります。数字を表すことは5まで同じですが、6から違います。6から10は、中国人は片手で表しますが、日本人は両手です。たとえば、人差し指を90度に曲げて、中国では数字の9を表していますが、日本ではこの指の動作は「万引き」を表しています。また、多くの国では親指や小指を出すことはそれぞれ「良い」と「悪い」を表しているでしょう。でも、日本では親指は「男」を表し、特殊な場合には「両親」を表すこともできます。小指は「彼女」を表しています。

最後は、指の動作の言語も異なります。一部の指の動作に異なる意味があることがあります。例えば、日本では手のひらを下に向けて上下に振ると「きてください」「どうぞ、こちらで行ってください」を意味し、中国では通常、手のひらを上に向けることが一般的です。異なる文化間で交流する際に、地元の習慣と礼儀規則を理解する重要性が大切なことだと思います。

要するに、日本と中国のジェスチャーはそれぞれの国の文化の違いを反映しています。これらの違いはお互いの理解を増進するだけでなく、異文化間のコミュニケーションにおける課題を強調しています。これらの違いを尊重し、理解することにより、多くの日本文化に深い興味を持ち、学習に新たな原動力を加えてきたと思います。

